

空調設備専用の防カビコーティングで室内空気環境を快適に保つ

「MPC工法」は、空調設備用の防カビ・抗菌コーティング工法としては世界で初めて特許を取得した技術。専用の防カビコーティング剤「FT400AS」を使用することで各種汚染（粉塵・カビ・最近・害虫）を抑制し、空調設備の機能維持・向上に貢献する。

■特長

①防カビ・抗菌性

（一財）建材試験センター実施の「水性塗料のかび抵抗性試験（JIS Z 2911 8. 塗料の試験に準拠）」にて防カビ性能を確認済み。また過酷推進試験でも、空中浮遊菌数・付着菌数のカビ繁殖量の低減が確認された。

②防汚染性

コーティングに含まれるMPCポリマーにより塗膜表面電位が極めてゼロに近くなり、表面にプラス電位を持つホコリ・有機物等の汚れが付着しづらい。

③塗膜追従性

塗膜伸度300%で、空調機設備内部（ダクト・断熱材など）の熱膨張および収縮、清掃時の摩擦に追従する伸縮性を有する。

④塗膜不燃性

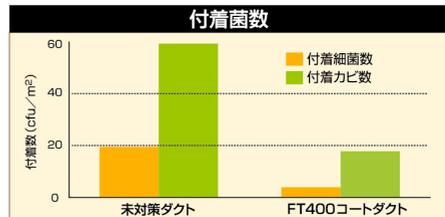
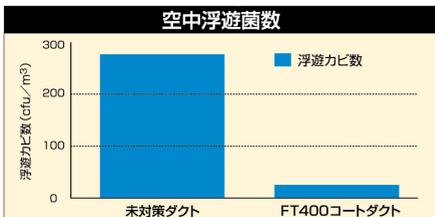
建築基準法の防火基準に適合した不燃性（実測値2.49MJ/m²以下）を有しているため、空調設備内部に使用することが可能。

⑤VOC対策

（一社）日本塗料工業会が認定するホルムアルデヒド放散等級区分表示F☆☆☆☆を取得（登録番号N06009）。

■専用コーティング剤「FT400AS」について

衛生管理のパイオニアであるファインテック、総合化学メーカーの日油、空調ダクト清掃のリーティングカンパニー・日本ウイントンの3社で共同開発した防カビコーティング剤。アクリルシリコン系の樹脂に防カビ剤とMPCポリマーを配合し、強固なコーティング膜を形成する。MPCポリマーは高い安全性と防汚性を有し、長期にわたってホコリや微生物汚染などのリスクを低減する。



問い合わせ先